

サーバス東海北陸支部会報

2013年6月1日

発行者 支部長 Y.T.

年会費 4000円 (年会費、3000円+会議会合費 1000円)
振込先 郵便 日本サーバス東海北陸支部 00810-5-79212

I 次回例会

日時 6月30日 午前10:30~12:30 開始時間 30分遅れ
場所 名古屋マリオットホテル、1階喫茶室 デセナーレ
議題 2013年国内会議報告
今年の国内会議で来年の国内会議お世話担当支部、東海支部の決定をを受けての当支部、取り組みについて
それぞれ役割分担での取り組みを検討
今年の移動例会について

II 国内会議報告と東北支部例会参加報告

支部長 Y.T.

昨年度決定した次年度国内会議担当支部として、関東支部での国内会議に初の多人数参加。皆さんの心意気を感じます。過去国内会議東海支部受け入れは、多分3or4回。そのうち20年で3回は、Yの住まいの近く志摩にて2回、津にて1回開催され、ほとんどのお世話をYがさせて頂き、運営のお手伝いをさせて頂きました。そんな僻地開催を嫌い北海道支部長の言葉、名古屋近くでとの言葉だったに違いありません。でも近年近畿支部での開催は、京都、その以前の九州支部での開催は、大分など田舎での開催が多いのですが、志摩は、余りにも辺鄙な所だったのでしょか？ 北海道よりは、辺鄙ではないのですが・・・一応日本の真ん中ですし。

私としては、主となって動かれる方の近くにて開催を強く望んできてはいたのですが・・。会議内容は、本部からの報告に譲るとしまして、会議前、会議後東海支部会出席者と、取り組みを具体的に話し合いました。続きは、例会にてを考えています。来年の3月17, 18日国内会議当日は、東海支部会員万障繰り合わせての協力どうぞよろしくお願いします。特に、いつも参加されにくい男性の方の協力応援どうぞよろしくお願いします。

その今年の国内会議中の夜の懇親会の席上、東北支部の支部長Tさんから、日本サーバスでは近年九州支部でもとり組んでいます、他支部では皆無だった当支部では20年来取り組んできた泊まり込み移動例会について話に来てくれないかとの懇願に会い、痛い足腰を押しての東北福島二本松での移動例会に東海支部から私と私を補佐して下さるトラベラ

一会員のDさん、それに当方が強く誘った昨年の東海支部富士宮例会に参加された関東支部のIさんTさんと参加し東海支部の取り組みを、東北の初泊まり込み例会参加者20名にお話ししてきました。特に昨年東海支部初泊まり込み例会参加者の関東支部のTさんIさんが、口に泡を飛ばしながらの賛辞は、東北支部会員へのよき刺激となり、彼らの初の試みに花を添えてくれました。その結果、これから、ただの会費をずうっと払い続けるだけの会員でなく、こんな楽しい泊まり込み例会をぜひ続けていこうとの話し合いになりました。放射能汚染下震災下でただでなくとも激減しているトラベラーを求める会員のさみしさの発露から出たお言葉だったのですね。ただ会費をずうっと払い続けるだけでなく、こんな泊まり込み例会をぜひ続けていこうとの話し合いになりました。

当方からは、これも九州支部、東海支部で以前より取り組んでいる近隣のアジアとの交換交流についても話してきました。そのためには、11月の極東アジア会議に参加することを、勧めてきました。

これらの取り組みは、近年円高で来日トラベラーの少ない中での日本の会員相互の交流、また近隣アジアとの交流を考え勧めてきたものですが、サーバスの精神の個人のレベルでの心の交流から培われた絆が、芽を吹き、花を咲かせ、大木となるように、人と人とのつながりの絆が、世界平和の礎なり、その個人のレベルのつながりが、さらには、経済的なつながりにまで発展していくやも分かりません。ただ言えることは、平和への小さな一歩になることは、言えると思います。特にアジアにおいて過去余りよき印象を残してこなかった日本には、大切な心の交流を根底とした絆を醸成するよき機会かなと思いました。

そんな話し合いの中で、何人かの方が、まず東海支部の例会にお招きあれば行かせてもらいます、との言葉にあらどうしたらいいのかな?と考えました。

また、一番驚いたことは、東北滞在初日震度5弱の地震が来た時の市民の反応です。たまたま屋外にいたのですが、建物は、グラングラン動いているのに、市民は、その建物を一瞥しただけで、何も動揺しなかったことです。東北支部のMさんも、3.11が来る3日前に大きな地震があったそうです。ですので3.11の当日もまたかぐらいの反応だったそうです。それが、あの被害。地震にならされてしまっているのですね。また、私たちの会議場は、放射能被害のあった所。しかし自然は何も変わらず、どこに何があったの?ぐらいの静かな所、ところが、放射能が忍び寄っていたところ——恐ろしいですね。自然は、何にも変わらなくとも、3.11以来東北支部を訪れるトラベラーは激減。それだけに他支部会員との交流、またアジア会員との相互交流に強い関心を示されておられたのですね。

下記に東北支部会員からの感謝のメールをいただいたものを記します。

Yさま

東北支部会員 H

遠路、辺鄙な二本松市へお出かけ下さいまして誠にありがとうございました。実は、泊まりの支部総会は初めての試み(だと)思います。東北支部の会員20名。

私は入会して4年目。総会出席皆勤なれど、他の会員、今回欠席者は会ったこと見たこ

とない方ばかり。要するに私の知る限り、4年間一度も顔も出さず年会費だけ納入して・・・

私は「あなた達何なの？」って怒りたくなっていました。

今までの総会は、支部長あいさつ、M事務局長の話を聞いただけで閉会。出席者相互の会話も無く解散してました。

今回、初めての泊まりで出席者の名前と顔が一致。いえ、それだけに留まらずそれぞれの **Potential** まで知ることになりました。これにより、来年度以降は各県持ち回りの「泊まり総会」になると思います。

ただ、残念なこともあります。会員、全員メールアドレス、あるはずなのに、いまどきメール打てる人半数以下。これでは Servas ゲストを受け入れ出来ないでしょう。

私は一度お会いしたゲストとはその後もメールで絆をつないでおります。そして何か交信あるたびに自身の Blog で公開しています。

以下は6年前にフランス人のサーバスゲストを受け入れた時の話です。

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatameiwaku/diary/201305230000/>

東北支部会員で読める者いないはずです。

Y様

東北支部会員 T

メールありがとうございました。

その後体調はいかがですか？

二本松まで足を運んでいただきほんとうにありがとうございました。

東北支部での一泊総会も初めてだし、もちろん他の支部から参加いただいたのも初めての総会、とても有意義かつ楽しく、そして今後につながるものでした。

Y支部長のご活躍ご苦勞の一端を見させていただきました。

これからも宜しく願います。

そうですね。国内サーバス、もっと楽しみたいですね。まだ、なかなか時間を作ることが出来ないでいますが（作る努力が足りないとも自覚あり）、ますます積極的に歩きたくなってきました。

まずは東海支部と考えていますので、その節はよろしく願います。

そろそろ梅雨に入り体を壊しやすい時期になりますのでご自愛ください。

Ⅲ 国際交流、日台、日韓交流のその後

支部長 Y.T.

11月の台湾との交流は、もうすでに芽が出、東海支部への旅行者も何人か受け入れてもらっていますし、東京のIさん宅にも訪問者があったそうです。ただ、英語のあまり上手でない方だったので肩が凝ったとのことですが、私Yも、サーバス会員となった当初英語会話にほとんど自信もなく、きっと来訪者にご迷惑かけたことと思いますだけに、どうぞ育ててくださいと願うばかりです。きっと彼らのこれからの英語勉強の励みとなり、将来は、国際的に活躍する人にも育つやも分かりません。

でも以前の韓国との交流では、その後多くの韓国勢がやってきてはくれましたのですが、7人8人で行動する彼らの受け入れは、(英語を話せる方も少ない。) うまくいかず、あまり進まなかったようですが、これもオンドルという暖房施設のある韓国では、室内が非常にあたたかく、冬でも布団なくても何人も寝られるというお国事情から、大勢を一時に迎え入れられるとの思い違いが出てくるように思いました。また、韓国では、会員は、多いのですが、英語をしゃべられる方は、少なく個人での行動が、難しいとの事情もあるやもしれません。でも、Tさんのように大歓迎される方も出てきているのですから、少しずつ交流が進んでいるようです。

IV 11月広州で行われる極東アジア会議参加申し込みについて

皆さん、こんにちわ。 11月中旬に開かれる、第7回東アジア会議のご案内です。各支部長および事務局長のみなさんにはお願いです。 参加希望者の報告および代金の送金を、8月20日(火)までに、私あて、お願いします。 全体的な締め切りが8月末になっておりますので、よろしくお願いします。

中国南方航空を利用すると、日本から広州まで直行便が出ています。中国サーバスでは、できるだけ空港でお迎えしたい、と言ってきています。

参加者の氏名・性別を明記して下さい。

また、航空便名もお願いします。

東アジア地区コーディネーター N.M.

第7回東アジアミーティングのご案内

日 時 2013年11月15, 16, 17日

場 所 中国広州市中山大学

日 程

15(金) 18:00~21:00 歓迎会

16(土) 09:30~09:40 挨拶 *中国会長、東アジアAC

09:40~09:50 挨拶 *ゲスト

09:50~12:00 報告 *各国会長

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 グループ・ディスカッション ~ 中山大学の学生有志も参加

*東アジア圏交流の活性化

*海外からのトラベラーを増やす手立て

*各国における文化活動

16:00~16:30 各グループMCによる報告

16:30~17:00 次期開催地

- 17:00~19:00 夕食
- 17 (日) 09:00~09:30 諸連絡
- 09:30~09:40 集合写真撮影
- 10:00~15:00 広州市内観光
- 20:00~22:00 真珠川クルーズ

会 費 230USD *3日間・3食、大学内ホテル代 (ダブル、ツイン) を含む

お知らせ

- 1) 広州国際空港または駅で出迎えあり
- 2) 会終了後さらなる滞在OK
- 3) T会長からのお誘い「別荘滞在如何？」 *マカオ近く

各支部長および事務局長へのお願い

8月20日(火)までの内に、参加者の氏名・性別を明記の上、一人あたり230USDを私宛に、現金封筒で送金して下さいますか。

第7回東アジア会議運営委員会

V 新入会員

1. Oさん。刈谷市熊野町の方です。
2. Nさん。名古屋市名東区の方

VI 受け入れ報告

(1) 台湾の方を受け入れて

会員 H.K.

5月21日から23日まで台湾、台北市のS氏と彰北縣のS氏が来られました。S氏は去年の秋に東海支部で台北を訪れたときにレストランで一緒された方です。S氏からは来日前と帰国後にもご丁寧な電話をいただきました。

Sさんはバーベキューソースを持参して、キャベツと豚肉の炒め物を作ってくれました。

22日は波切(なきり)の灯台を案内し、熱心に見学されました。お昼前にTさんも合流してくださり、レストランで昼食を取りました。午後は伊雑の宮という伊勢神宮の末社へ案内させていただき、その後、休耕田にルピナスを栽培している所を見学しました。Tさんをお送りしてから、スーパーマーケットへ行きたいとの申し出があり、薬品を大量に買っていかれました。帰宅して少し休息後、盆立ての手前をさせていただき、夕日の美しい登茂山(ともやま)へ向いました。Sさんは他のサーバスメンバーに会いたいという希望を前もってメールされてきていたので、登茂山に住んでみえるS/Kさんも夕日を見に来て下さり、その後彼女のアトリエまで、同行させていただきました。

23日は御座（ござ）という海水浴場を見学後、聖武天皇勅願による青峰山（海を守るを守り続けて千二百年）という「正福寺」で持参のお弁当を取り、ゆっくり見学後近鉄鳥羽駅までお送りしました。

夜9時すぎに関西支部のHさんの家からお電話をいただきました。

私どもも普段なかなか行けない所を見学でき楽しい3日間でした。

(2) トラベラー受け入れ報告

会員 K. H. & K. N.

012. 12. 5, 6, 7 K夫妻 ドイツ

かつて日本で仕事をしていたので、日本語も話せた。本の書票収集家で、フランクフルトの近くに住んでいる。

息子さんが高校の交換留学で1年間諏訪に滞在し、学んだ。

2013. 4. 13, 14, 15 Z夫妻 イスラエル・ハイファ 海洋学者

これから旅を始めるというのに、ご主人の腰の調子が悪くコルセットをお貸しした。

その後旅行先からコルセット 使用で好調との連絡があり、安心した。

2013. 4. 20, 21, 22 D 19歳 今年9月から大学生

2/22長崎から旅を始め～5/16迄。Servas 滞在は3軒だけしか受け入れて貰えなかった
ので、カウチ・サーフを活用している。とても積極的な女子学生でした。

3組とも日本旅行をきっかけに、直前にServasへ入会した。

それぞれに楽しい出会いでした。

(3) トラベラー受け入れ報告

会員 I. Y.

受け入り日：2013年5月4日～5月8日

トラベラー：K (M) & H (F) オーストラリア (認証は台湾) お二人は台湾とのお付き合いがある方で、日本は始めてとのことでした。初日の4日は、I が所用で名古屋に行っていたこともあり、車で名古屋駅に出迎えました。

Kさんはヒッピー風の出で立ちですぐにトラベラーだと判りました。この日は少しのアルコールとともに我が家で夕食をとってもらい、疲れているだろうということですぐに休んでももらいました。

翌5日は昼から我が家でバーベキューをしました。肉がダメなお二人なので海鮮バーベキューと相成りました。昼過ぎから夜までワインを傾けながらの会話と食事はたいへんゆったりとして心地のいい時間でした。

6日は地元、犬山の街を案内しました。ゴールデンウィークということもあり結構な人出で、観光コースは賑わっていました。お二人といっしょに国宝犬山城を見物、ボランティアの英語のガイドさんが付いてくれたのでたいそう助かりました。ただ、驚くことに犬山市には英語の観光地図がないということが判りました。観光都市を標榜する犬山に英語の観光地図がないとはどういうことなのか？しばし絶句してしまいました。

7日はI は出勤でした。勤務地は岐阜市なのですが、岐阜市を観光するという出勤に合わせて早朝から起きて準備をしてもらいました。

金華山に登ったのはよかったのですが、ヘンな方向に下りてしまっておおいに歩いたようです。帰途は我が家の最寄り駅まで自力で来てもらいました。

最終日の8日もIは出勤だったので、この日は朝食をいっしょにとって挨拶をしてお別れとなりました。家内が駅まで送って受入完了です。

本当は、最後にいっしょに写真を撮りたかったのですが、出勤前の慌しさで叶いませんでした。結局、犬山城でいっしょに撮った写真が記念となりました。

この日の夜は、急なお願いを快く受け入れてくださったTさんのところにお二人はステイをすることになりました。着付け教室帰りのTさんと名古屋駅で待ち合わせということになり、お二人ともKimonoに感激したのではないかと思います。

そのあと、京都、大津、大阪、神戸を訪れて、帰途に着くとのことで、初めて訪れた日本の印象はいかがだったでしょうか。よい印象をもってお帰りになってくれれば、たいへんうれしく思います。